

個別の指導計画 最終報告

和歌山ろう学校 幼稚部

幼稚部の現状

3歳児～5歳児 9名(教育相談7名)

5歳児: 3名 重複障害1名を含む

(教育相談: 2名 重複障害: 2名を含む)

4歳児: 2名

(教育相談: 1名 重複障害: 1名を含む)

3歳児: 4名 重複障害2名を含む

(教育相談: 4名 重複障害: 2名を含む)

幼稚部 通学状況

3歳児（うさぎ）	毎日登校	2名
	月・火・水・金	1名
	水・木・金	1名
4歳児（ぱんだ）	水・木・金	1名
	毎日登校	1名
5歳児（ぞう）	火・木・金	1名
	金	1名
	木・金	1名

家庭の都合や遠距離通学のため、
毎日登校できていない幼児もいる。

（居住地域の保育所等に通所）

平成21年度

幼稚部

● 幼児

● 教育相談 7名

● 幼児教室 19名

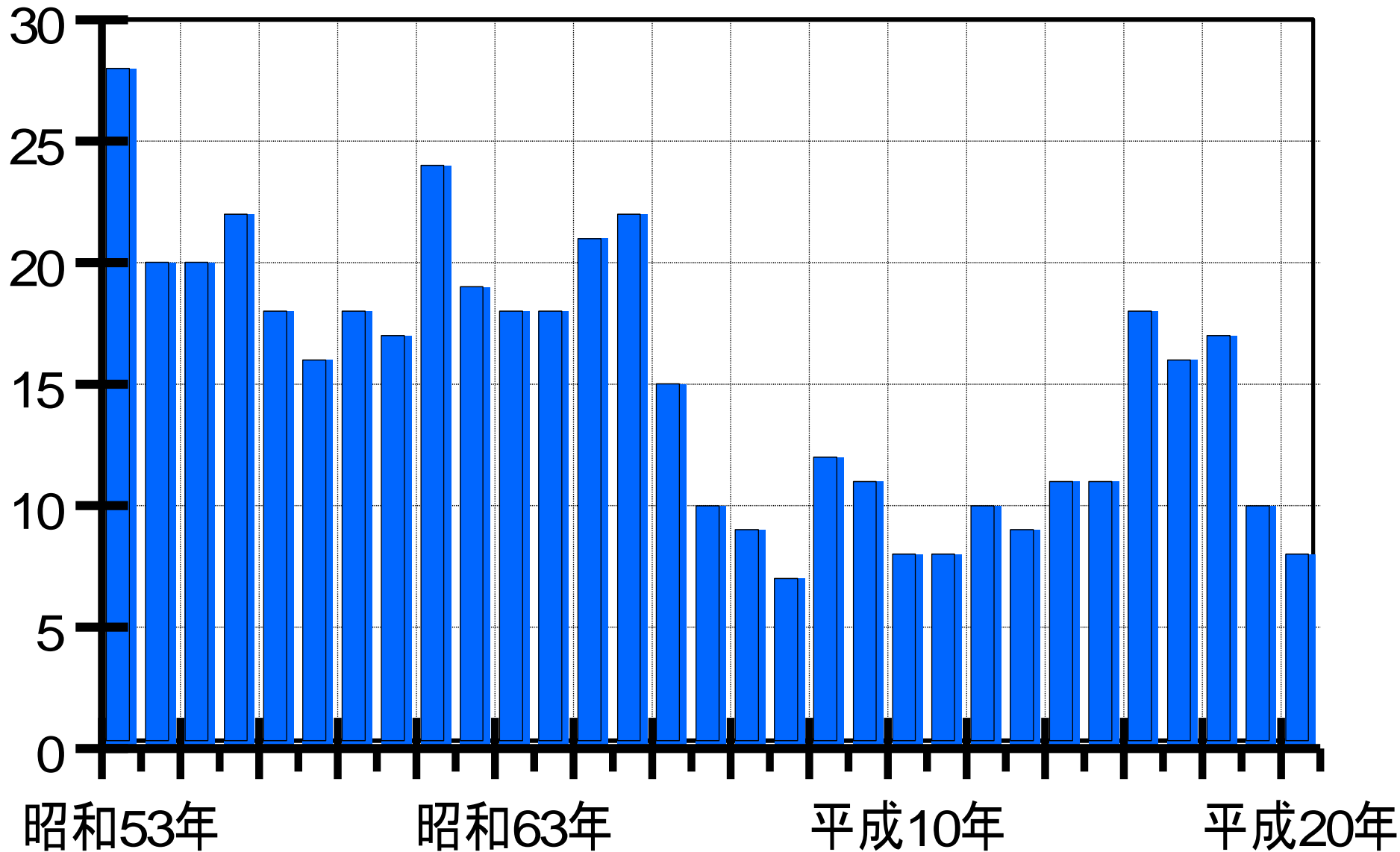
和歌山県

ろう学校

9名



表1 幼稚部在籍幼児数の変遷



◇人工内耳

4歳児：1名 3歳児 1名(コクレア社 Freedom)

補聴手段の1つとして、人工内耳を選択する保護者も増えてきている(反対側には、補聴器装用)。

人工内耳の両耳装用を考えている保護者もいる。

※課題：手術前後の人工内耳の情報提供

医療との連携(マッピング調整)

◇補聴器 ～ デジタル化 ～

デジタル補聴器 幼児 9名

FM補聴器使用(保育所) 5歳児 1名

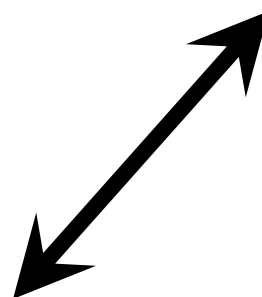
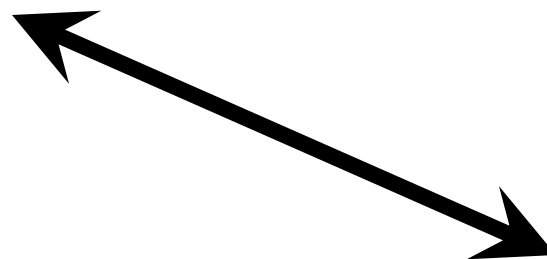
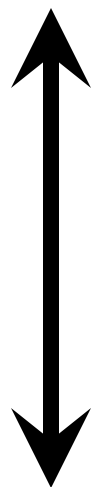
幼稚園として大切にしていること

実態把握

個別の指導計画

ケース検討

ビデオ等での保育研修



ケース検討

- 発達検査や語彙チェックなどの結果から評価
- 聞こえ、言語、発音、コミュニケーション面から指導における支援や配慮などを検討

保育研修(ビデオ研修)

- 教材の提示の仕方
- 保育の組み立て方
- 幼児の姿から見えてくる課題について
- 個別の指導計画と照合して幼児の様子を検討

幼稚部での取り組み

- カレンダー学習

昨日今日明日 日にち・曜日の概念形成
予定や出来事の確認 楽しいやりとり活動

- 朝の会・・・電池調べや聞こえのチェック 絵日記など

- 週予定・・・一週間の予定を絵と文字で作成

- 写真日記・絵日記・しおり

絵や写真、文字などで活動を振り返ったり、
行事の期待感を高めたりするための教材

朝の会プログラム

ほちようき
でんち
しらべ



●		

あさ
さ
の
かい
い



たち
まし
し
よう



おは
よう
ござ
います





き
よう
は


がつ ようび?
 にち?




てん
きは



なん
の
おと



あ
い
う
え
お



な
に
?



あ		
い		
う		
え		
お		



「？」
の
つく
ことば











え
に
つき



う
た



週活動予定

11がつ30にち げつようび	12がつ1にち かようび	12がつ2にち すいようび	12がつ3にち もくようび	12がつ4にち きんようび	12がつ5にち どようび	12がつ6にち にちようび
<p>ちょうのう</p> 	<p>あさのかい</p> 	<p>あさのかい</p> 	<p>あさのかい</p> 	<p>あさのかい</p> 	 <p>おやすみ</p>	 <p>おやすみ</p>
<p>あさのかい</p> 	<p>すごろく</p>  <p>つくる</p>	<p>おたんじょうかい</p> <p>けーきをつくる</p> 	<p>としょつへいく</p> 	<p>かるたとり</p> 		
<p>あそぶ</p> 	 	<p>さんぼ</p>  	<p>しゅうだん</p>  <p>おたんじょうかい</p>  <p>くりすますのうた</p> 	<p>さんぼ</p>  		
<p>きゅうしょく</p> 	<p>きゅうしょく</p> 	<p>さんどいっちと</p> <p>けーきをたべる</p> 	<p>きゅうしょく</p> 	<p>きゅうしょく</p> 		
<p>かえりのかい</p>   <p>1じ30ぷんにかえる</p>	<p>かえりのかい</p>  <p>あそぶ</p>	<p>かえりのかい</p>   <p>1じ30ぷんにかえる</p>	<p>かえりのかい</p>   <p>1じ30ぷんにかえる</p>	<p>かえりのかい</p>   <p>1じ30ぷんにかえる</p>		
 <p>すいとう タオル おたより ハンカチ</p>	 <p>すいとう タオル おたより ハンカチ</p>	 <p>すいとう タオル おたより ハンカチ</p>	 <p>すいとう タオル おたより ハンカチ</p>	 <p>すいとう タオル おたより ハンカチ</p>		

写真・絵カード



ちょうのう

しおり (行事)

 <p>クリスマスかい</p> <p>12がつ 18にち さんようび</p>	 <p>10じ30ぶん</p> <p>プレイルーム あつまります。</p> <p>もつてくるもの</p> <p>コップ おはしセット さんかくぼうし</p>	<p>あいさつ を します。</p> <p>これから クリスマスカい を はじめます。</p> 
 <p>うた を うたいます。</p> <p>あわてんぼうのサンタクロース</p> <p>みんな で うたいましょう。</p>	 <p>みんな で あそびます。</p> <p>「ろんだんばし」 「じゃんけん でんしや」</p>	<p>せんせいたちが だしもの を します。</p>  <p>「な」を するかかな? おたのしみ!</p>
 <p>サンタさんが きます。</p> <p>ダンス を します。</p> <p>「ジングルベル」</p> 	 <p>「ありがとう」 おおきな こえ で いおうね。</p> <p>サンタさんに プレゼント を もらいます。</p>	<p>みんな で きゆうしよく を たべます。</p>  <p>「いただきます」 きゆうしよく は なにかな? たのしみ! していてね。</p>

絵日記



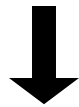
幼稚部でのコミュニケーション

- ・一人ひとりの実態に合わせ、音声言語・聴覚活用・手話・指文字・文字・視覚情報（絵カード・写真）等、幼児にとって言語獲得に繋がるように取り入れている。
- ・保護者の障害認識やコミュニケーションの考え方と丁寧に向き合っていく。

『「ことば」を獲得する』

ことを支える

- ・ 何事にも楽しめる力を育てる
- ・ 安心感と自己肯定感を持たせる
- ・ 他者を認める力や社会性を育てる



- ・ コミュニケーション力
- ・ イメージする力
- ・ 表現力



「ことば」

「ことば」を支えるために

- 音声・身振り・指差し・手話・指文字・文字・絵・具体物等、あらゆる手段を使って伝えたり、子どもからの言葉を引き出し、やりとりを行う。
- 子どもの興味のあること・季節に関すること・体験を通じたことを話題にする。
- 幼児が楽しみ、やりたい気持ちや満足感をもてるようにする。
- 幼児のイメージを広げていく取り組みにつなげる。

家庭との連携

- 母親教室・保護者会・懇談等で保護者の理解を求めていく。
- 活動のねらいや様子等を伝えると共に、写真通信や絵日記などを使い、家庭でも学校でのことを話したり、家庭での出来事を聞いたりできるような取り組みを行う。
- 連絡帳や学級通信で子どもの様子を交流し、課題も共通に理解する。

課題

- 個々に丁寧に対応することで、教育効果を高める。
- 集団での取り組みも意識的に取り入れ、コミュニケーション力を高める。
- 子ども同士でコミュニケーションが取れるように、その楽しさを感じられるようにする。
- 幼児の生活地域での仲間づくりをめざす。